

会 議 録	
会議の名称	令和８年度第１回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和８年６月１０日（水） 午前９時３０分から午前１１時４５分まで
開催場所	清須市役所南館４階　４０３大会議室
議題	１　開会 ２　議事 （１）会長選出 （２）副会長・監事選出 〔報告事項〕 （１）令和７年度コミュニティバスの利用状況の推移について （２）令和７年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について （３）令和８年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて 〔協議事項〕 （１）令和７年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について （２）地域公共交通計画に係る令和７年度取組状況の評価について （３）ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項について （４）令和９年度地域公共交通計画別紙について ３　その他 ４　閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 〔会議資料〕 資料１　令和７年度コミュニティバスの利用状況の推移 資料２　令和７年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 資料３　令和８年度清須市地域公共交通会議スケジュール 参考　　令和８年度清須市地域公共交通会議の予定議題 資料４　令和７年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算 資料５－１　清須市地域公共交通計画に係る令和７年度取組状況の評価（案） 資料５－２　清須市地域公共交通計画の評価等結果（案） 資料６－１　ルート・ダイヤ改正について 資料６－２　ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項（案）

	資料6-3 ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項（案）に係る意見シート 資料7-1 地域公共交通確保維持改善事業の概要 資料7-2 令和9年度清須市地域公共交通計画別紙（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	2人
出席委員	高橋委員、山田委員、林（巖）委員、笠原委員、柴田委員、鬼頭委員、加藤（博）委員、原田委員（代理）、高臣委員、鈴木（正）委員、有田委員、小林委員、竹田委員、福田委員（代理）、岡田委員、鈴木（雅）委員、夫馬委員、田中委員
欠席委員	加藤（榮）委員、野田委員、井上委員
出席者（市）	なし
事務局	（企画政策課） 神野課長、渡邊課長補佐、石田副主幹、岩田係長、坪井主任
会議録署名委員	山田委員、鬼頭委員
1 開会 （岩田係長） それでは定刻となりましたので、ただいまから令和8年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。 私、本日進行を務めさせていただきます、企画政策課の岩田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 まず初めに、今回人事異動等により、本日の会議から新たにご参画をいただきます委員の方をご紹介します。名簿をご覧ください。 まずは第1号委員、高橋謙治委員でございます。続きまして第4号委員、愛知県都市交通局交通対策課担当課長の高臣綾子委員でございます。また、同じく第4号委員で、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の鈴木正浩委員でございます。 それではここから本日の会議の出席状況についてご報告をさせていただきます。 まず本日、第5号委員、名古屋タクシー協会専務理事の野田委員が欠席のご連絡をいただいております。また、同じく第7号委員、東海旅客鉄道株式会社の井上委員も事前に欠席の連絡をいただいております。 またこのたび、国土交通省中部運輸支局愛知運輸支局の原田委員が今回ご都合が悪いということで、代理として山田様に本日ご出席をいただいております。 それではこれより議事に入ります。ここで事務局から1点お願いが	

ございます。当会議の議事録を作成する関係上、会議でのご発言にあたりましては、次の２点にご協力をお願いいたします。

まず１点目、ご発言にあたっては挙手をしていただき、会長の指名を受けていただくようお願いいたします。

続きまして２点目、会長の指名を受けた方はその都度ご自身のお名前をおっしゃっていただいてご発言をいただくようお願いいたします。

それではここから会長の選出に移らせていただきたいと思います。

清須市地域公共交通会議の設置要綱第５条では、委員会に会長及び副会長を１名置くことになっております。会長は委員の互選によって決めることになっております。会長の互選につきまして、ご意見等ある方いましたらお願いしたいと思います。

特に推薦等もないようですので、事務局から推薦をさせていただきたいと思いますが、第１号住民または利用者の代表の委員としてご参画をいただいております高橋謙治委員に会長をお願いしてはどうかと考えておりますが、皆様いかがでしょうか。

〔異議なしの声〕

ありがとうございます。それでは高橋謙治委員に会長にご就任いただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは会長席を用意してございますので席のご移動をお願いしたいと思います。皆様しばらくお待ちください。

〔高橋会長、席の移動〕

それではここで高橋会長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

（高橋会長）

皆様こんにちは。ただいま会長に選出されました高橋でございます。

本日は、令和８年度の第１回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃皆様には、本会議の運営討議いただきお礼を申し上げます。

さて、本日の会議です。

令和９年度１０月のルートダイヤ改正についてが主な議題となります。ぜひよりよい地域公共交通を目指し、有意義な議論ができるよう、皆様どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、これで私のご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いします。

（岩田係長）

高橋会長ありがとうございました。

続きまして副会長の指名に移ります。

高橋会長の方から副会長の指名をお願いいたします。

(高橋会長)

副会長には、引き続き名古屋大学の教授、加藤委員にお願いします。

(岩田係長)

ありがとうございます。

副会長の席のご移動をお願いしたいと思いますので、皆様しばらくお待ちください。

〔加藤副会長、席の移動〕

ありがとうございます。

また続きまして、高橋会長の方から公共交通会議の監事のご指名をお願いいたします。

(高橋会長)

監事には引き続き山田政勝委員をお願いいたします。

よろしく申し上げます。

(岩田係長)

ありがとうございます。

引き続き監事には山田委員の方にご就任いただければと考えております。それでは以上で役員の選出を終了いたします。

では本日机上の方に配布をさせていただきました、『活発で良い議論ができる会議のために』という資料がございます。こちらにつきまして中部運輸局愛知運輸支局より簡単なお案内がございますのでよろしくお願いいたします。

(原田委員 (代理))

愛知運輸支局の山田でございます。

今日お手元に、この『活発で良い議論ができる会議のために』という資料が配られてみえますので、第1回ということで改めて、この会議がどういうものかというところと、あと議論質問を進めていく上でのポイントを簡単にご説明いたします。

では1枚めくっていただきまして1ページ上段の方をご覧ください。いま全国の地域公共交通が大ピンチということで記載がございます。その下に利用者の減少から採算が悪化し、路線の縮小・廃止につながっているということで、その下にグラフ等もございますが、全国各地でこのようなスパイラルが起こっているというのが実態であります。

この原因としましては、少子高齢化の進展による利用者の減少というところもございますし、少し前にはですねコロナによる外出抑制といったところが多く、利用者が戻っていないというところもございます。

す。また、少子高齢化によって労働人口が減少することによりまして、交通事業者によるドライバー不足も全国的に問題となっているところでございます。

都市部の方は比較的持ちこたえている状況ですが、地方部になると特に減少している現状となっております。

ただ地域公共交通は皆様ご承知の通り通勤・通学であったり、その地域を訪れる観光客の移動手段として重要なものであることはご認識いただいているかと思います。

公共交通がこのような状況にある中で公共交通を維持していくということが求められていることがどのようなことであるのか、どのような取組が必要であるか等を議論する場がこの地域公共交通会議とご認識いただければと思います。

2 ページの上段の方に地域公共交通会議で話し合うことの一例として出しております。

運行についてはダイヤ・ルートの見直し、こういったものが利用しやすいのかだったりとか、利用者をふやすために、どんな取組が必要なのか、また地域全体の公共交通の将来について、足がなくて困っているような地域はないか、将来に向けてどのような交通が必要なのか議論していくところもございます。また、そのほか補助金についての議論等も議題としてあがってきますので、皆様のご意見をちょうだいできればと思います。

次に3 ページ4 ページです。会議の参加者とその役割というところですけれども、様々な立場の方々が参加していただいております、それぞれの立場でご発言していただくというところがございまして、例えば住民の方であるならば、ちょっと色を変えており、日頃から感じている課題や困りごとや、公共交通に関する課題や必要な取組みの提案といった視点でご発言いただければと思います。

また、そのほかの方々におかれましてはそれぞれの役割のところを少しご覧いただいて、そういうところから質問していただければと思います。

5 ページをご覧いただきたいんですけれども、5 ページ以降は会議をよりよくしていくというところの説明がございます。5 ページの公共交通会議に臨むにあたって、今回もそうですけれども、会議の資料は事前に送付されておりますので、資料には、事前に目をお通しいただきまして、その上で気になることとか、質問等考えていただけると、当日の会議もスムーズに流れていくことができるかと思います。

1 ページめくっていただきまして6 ページの下段に会議をよりよくするポイントが2 つございますけれども、ポイント1 に地域における公共交通の役割や将来を考えて議論しましょうということが書いてございますが、会議の前で地域の交通としても、鉄道もありますし、まずタクシーなど様々な公共交通が存在しているところもございまして、それぞれが、維持して効率的に運行していくことで、より将来にわたって、維持がしやすくなっていくというところの側面としてございますので、それぞれの公共交通が果たす役割ですね、利用するのはどんな方が利用していて、その人の使い勝手が良いのか悪いのかと

いうところを意識しながら議論していくのがよろしいかと思ひますし、ポイントの2のところにお互い立場を尊重して議論しましょうということがあります。

議論の中では意見が少し対立するケースも中には出てくるかと思ひます。そういうときに、ご自身が意見を強く主張されてそれをまげないで話が進みますと、なかなか結論を導き出すことができないと難しいということです。お互いもし議論がぶつかり合うようなことがあった場合には、お互いの妥協点といいますか、そういうところを少し意識をしながら、前向きに議論をして最終的な解決策を導き出せるように進められるといいかと思ひます。他のページにつきましても様々なことが書かれておりますので、お時間のあるときに見ていただければと思ひます。私からの説明は以上です。

(岩田係長)

ありがとうございます。

会議がより建設的なものになればと考えておりますので、よろしく願ひいたします。

それではここからの会議の進行は高橋会長に願ひしたいと思ひます。

よろしく願ひいたします。

(高橋会長)

では私の方で取り回しをさせていただきます。よろしく願ひします。

議事に入ります。本日の議事につきましては次第の通り、報告事項が3件、協議事項が4件です。次第にある報告事項は一括して取り扱うこととしますので、まずは報告事項について資料の説明を願ひいたします。

(坪井主任)

【資料1・2・3を説明】

(高橋会長)

ありがとうございます。

この報告について皆様のご意見、ご質問等がありましたら挙手をお願いいたします。

(夫馬委員)

名古屋鉄道夫馬でございます。よろしく願ひいたします。

資料1の左側のこのタクシー配車状況ということで昨年度は増加したということでございますけども、どのルートとか、それから時間帯はどのあたりが多かったかっていうことを教えていただければなと思ひます。

後程出てきます意見シート、来週締め切りというものに参考になるかと思ひますので、よろしく願ひいたします。

(坪井主任)

タクシー配車についてですが、特にブルーのタクシー配車が多かったということになっております。

また第2便、9時台などのタクシー配車が多かったということが確認できております。特にこの配車に関しましては、満車だった際に、タクシーのほうを手配するっていうところでございますが、タクシー会社に確認しますと、ほとんどが満車によるタクシーの配車であったということが確認できております。

(高橋会長)

他にございませんか。

(原田委員 (代理))

愛知運輸支局の山田でございます。

利用状況のご説明の中で、グリーンルートの方は6月から9月にかけて施設の休止ということでグラフ上、実際に減っているのを説明いただいて、そのような感じもするんですけども、その後もずっと戻りきっていない。前年度を下回っていますし、それだけじゃない理由があるんじゃないかなと思いますし、あとサクラルートなんですけども、10月以降ずっと少し前年度から減少しているのでサクラルートのちょっと減少要因みたいなのところも、もし今、事務局側でわかるようであれば教えていただければと思います。

(坪井主任)

グリーンルートについてはご指摘の通り、湯吉郎の改修工事が終わった後の期間に関しましては減少傾向ではあるというところがございますので、大きな一番の要因としては湯吉郎というふうに考えておりますが、その他にも要因はあるものと思われるので、またバス事業者の方にも確認をさせていただきます。サクラルートに関しましては、特に一日券の販売枚数が減っているというのが特に顕著にありましたので、一日券を使い普段から利用されてる方の利用が減少したのではないかと考えております。

(福田委員 (代理))

つばめユニオンの委員福田の代理の太田と申します。

事業者として現場の立場としてわかるところ、これの理由といえるかわかりませんが、グリーンルートに関しましては結構レギュラーの乗客の方がいらっしゃったんですけども、それ以降から特定の乗られてるお客様が乗られなかったのもその数を減らしてるんじゃないかと思われます。

サクラルートに関しましては私もあまり乗ってないんで、はっきりわかりませんが、グリーンルートと同じじゃないかなと。レギュラーにおられる方が生活のスタイルが変わったりとかして乗られなくなったのではないかと推測しております。

(高橋会長)

よろしいでしょうか。他にご意見等ございますでしょうか。

それではないようですので加藤先生の方からご講評などお願いしたいと思います。

(加藤副会長)

名古屋大学の加藤です。

資料1については、今の件ですけれど、今日6月の会議ですけど次11月ってということなんです。3月までのデータが6月で出てきて、理由がわからないので検討するって言って11月にやられても、その間にやるべきことができないということで、ここできちんと解決しておかなきゃいけないことだと思います。今のご意見なんか先にドライバーさんに聞いて、確認してやれることじゃないか、あるいは事業者さんにも聞いてやれることじゃないかと思うんですけどそういうことはやらないんですか。今までやってるんだろうと思ったのでわからないっていうのはちょっとどうかと感じた。

あとサクラルートの方がむしろ気になったというか、先ほどの話だと推測になっているので、ここについて何かわかることがあるんだったら教えてください。もしかしたら委員の皆さんでもわかることがあるかもしれないので教えていただければと。

あと資料3ですけれど、こちらも例年のような書き方ですけどダイヤ改正のことを議論しているの、いろいろとダイヤ改正についてどこで議論して、どこでやるかっていうのも書いてあるのが普通と思うんですが、そこは何事もないような書きぶりです。例えば調査をどこでやるとかそういうのも多分書くことがあるのかなと感じました。

あと、11月の交付申請があるんですけど別にこの会議では議論してないんです。他の自治体だとこの交付申請も議題にするところがあるんですけど、ここだと議論はしていません。6月末の認定申請、今日の会議はそこにあたるんですけど、6月の会議は、その申請の協議をするので、認定申請期間を例えば矢印を書くとかした方が、初めて見た方も、これのためにこの会議をするんだとわかると思います。会議って、定例で大体清須の場合でも6月・11月・3月ということだとしても、何で6月・11月・3月なのかというのは、予算の決定がどの辺だからこうなのかとか、あるいは10月が大体ダイヤ改正のときなんでそれに向けて、その2回ぐらいはやるとすると、ここにあるということがわかると思いますので、そういうことはきちんと書いていた方がわかりやすいと思います。

確かこれは以前も近いことを言ってると思うんですけど、詳細は参考というところに書いてあって、参考は今説明がなかったと思うんですけど、参考にずらっと書いてあるものと、この資料3の方に書いてあるところがすぐ対照できる。例えば番号をつけるとか、そういうふうにされたらまだわかるんですけど今は説明されなかったので余計わからない。その辺をちょっと注意していただければと思います。

(高橋会長)

ありがとうございます。事務局の方、よろしくお願いいたします。

以上で報告事項については終わりでございます。

今加藤先生から述べられたことについて、委員の皆様からも何かご意見ございましたらお願いいたします。

(山田委員)

山田です。資料3のバスの乗り方教室というのは、どのようなやり方でやるんですか。

今まで通りに、バス置きといて見学だけというようなやり方なのか、以前から私は高齢者でもきちんと乗り方教室というのをやってくれというお話をしてるんですが、全くそういう計画がないので、どういうやり方でこれからやっていくのかちょっと聞きたいと思います。

(坪井主任)

現在、小学校3年生を対象に行っているものとしましては、まずあしがるバスについての紹介をさせていただいた後、実際外に出ていただいて、バスに順番に乗っていただくというようなものも行っております。

高齢者向けに関しましては、今年度入りましてから社会福祉協議会の方にそういった活動をさせてもらえないかということでお声がけの方はさせていただいております、まだ日程の調整等は行うことができていない状態でございます。

やり方としましては、実際にバスを持ってきて、見てもらいながら紹介という形が望ましいかなとは思っておるのですが、また具体的なところ、小学生に対するものと全く同じっていうのは違うと思いますので、また検討いたします。

(加藤副会長)

山田さんはいつも言っていますよね。10年ぐらい前から。なんでできないんですか。

小学生は自分で乗れないので、将来的に公共交通に親しむ効果はあっても、ほとんどその時は効果ないです。高齢者だとそこに来る人は切実に乗りたい人なんで、効果が高いんですよ。

問題は本当に乗って欲しい人が車にずっとしがみついているみたいな。これが本当は何とかしたいんですけど、そういう人は実はあんまり聞いてくれないんでそこにまた別の対策が要るんですが、それ以前に自分が何とか乗りたいなと思って、そのためにこういう会議に出て乗れるようにしたいっていうことであつたら一番即効性が高いんで。

これをどこでも当たり前にやってるといえるのか、何でこうを頑なにやろうとしないのかなと。今社協って話したんですけどあれですか。なんていうか老人会っていうか、今結構老人会とかもあんまり組織ができなくなってるかと思うんですけどそういうところにアプローチとか、あと市役所の福祉関係のところでアプローチするとかそういうことはしないんですか。したらなんか希望が出てこないですか。

(坪井主任)

社会福祉協議会の方に声掛けさせていただいた件に関しましては寿会での集まりなどがあるときに、そういった活動はできないかということでお声がけをさせていただきました。

(加藤副会長)

寿会、そこは社協さんが仕切ってるとかそういう感じなんですか。直接こちらの担当でアプローチするってわけにいかない。間接的だったら時間かかるんじゃないかなと、そちらもそこに押しかけてこういうのやってるんでぜひ手挙げてくださいなら早いんじゃないかと思います。

(神野課長)

企画政策課長の神野です。

今先生おっしゃられた寿会に関しましては、社会福祉協議会の補助団体に当たりまして、事務局を社会福祉協議会が担っております。寿会というのは各地区内と言いますと4地区ございまして、その前に総会というのがあるんですが、課のなかで協議したところ、総会の場で乗り方の教室というのをを行うのは、あまり適切ではないかなと。やるのであれば各地区で行われる寿会、その下の支部会みたいなものがございしますので、そこに出向いて実施をしていきたいと今考えております。

そこでは事務局の方で日程とかも確認ができますので、そちらで当日支部会には社協の事務局の方も参加されますのでそこに同行した形で一緒に実施ができればというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

総会でやるなんて全然全く想像もしてません。総会に行って、宣伝したらどうかって言ってるんで、総会来る人なんて、乗らない人でしょ。意味ないですよ、総会でやるのは。そこで各4地区で、あるいはもっと細かいところでもできるんだけど、やりませんかっていう、そういう案内しにいかないのかってそれを聞いたんで、それを社協さんに話して社協さんにやってもらったら間接になる。間接じゃなくて直接言った方がいいんじゃないですか。

(高橋会長)

ありがとうございます。

私も初めてこの会議で参画しまして、いろいろ事前資料を見させていただきました。

今寿会のお話が出てましたけど、他にも地域ではグループ社協の1つ1つの事業、お年寄り町内会の事業、いろいろありますが、やはりそういうところで実際にアプローチしないと、今の議論が進んでいけないので、また日程調整等々図って、1人でも多くそういう理解者が

増える、そういう機会を作っていただきたいと思います。

他にございませんか。

(柴田委員)

市民委員の柴田孝子と申します。私も多分去年言ったと思うんですが、バスの乗り方教室の件で、特にその寿会の行事に出前しなくても、地元の方が集まれるカラオケ大会っていうのが、各地区であると思うんです。

その時、私も知り合いの方が参加されたので聞きに行ったんですが、そこですと不特定多数の大勢の方がいらっしゃるんで、なんかこんなことやってるからちょっと見てみようかっていう気になるのかなって、アピールできるのかなと思いますので、そういうところでの乗り方教室の開催も検討していただけたらいいのかなと思います。例えばカルチバ新川で盛大にやられてたりするので、そこだと集客人数も多いですし、どうかなと思います。

(高橋会長)

ありがとうございます。他にございますか。

いろんな意見が出ました。ありがとうございます。

これで報告事項については終了させていただきます。

引き続きですね、協議事項に関する議事に入ります。まずは次第の順に協議事項(1)、令和7年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について事務局から説明をお願いします。

(坪井主任)

【資料4を説明】

(高橋会長)

今の協議事項ですが、ご意見ご質問ございますでしょうか。ありましたら挙手をお願いします。

特に質問もないようですので、ここでお諮りします。本件に関して、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

それではこれで協議事項(1)を終わらせていただきます。

続きまして協議事項の(2)でございます。地域公共交通計画に関わる令和7年度取組状況の評価についてを議題とします。それでは事務局から説明をお願いします。

(坪井主任)

【資料5-1、5-2を説明】

(高橋会長)

ありがとうございます。

この協議事項について、またご意見、ご質問等はございましたら挙手をお願いします。

（山田委員）

山田です。鉄道バスに関する情報提供ということで、鉄道駅にあしがるバスの案内の表示をしたということですが、事務局は確認しましたか。私全然なんだけど、みたことがない。

（坪井主任）

名鉄駅でバス停が付近にあるところに設置をさせていただいたんですが、実際に私どもで設置の方をさせていただきました。

（山田委員）

確認してりゃいいけど、私が電車乗っても見たことないもんで。

（高橋会長）

他にございませんか。

（加藤副会長）

先ほどの隣接市と連携した鉄道のさらなる価値向上と鉄道利用者数について枇杷島駅と清洲駅はそれぞれ何人になりますか。これ合計すると、300万9000人。清洲駅がやや少ないのかなと、それから、これは増減は前年度比でどうかとか、今思ってたんですけど、「隣接市と連携した鉄道のさらなる価値向上」、目標だと「隣接市と連携」となっていて、評価では「鉄道事業者と連携」となっている。この隣接と連携っていうのは、隣接市と一緒にあって、価値向上するという意味の連携なのか、隣接市と結ばれているというそういうことを意味する連携なのかっていうのをちょっと明確に。今全部ありえますね。普通は隣接市と繋がってるってのは、連携とはあんまり言わなくって、繋がっていると言えればいい。

隣接市と連携だったら当然名古屋市とかと連携すると、いろいろ話し合ってるということなんで、その内容は何もここには書かれていないんで。確か城北線の協議会とかがあったんだと思うんですけど、他に何かやってるとかそういうことはない。

あと、事業者との連携っていうのは、事業者さんが出ておられる会議ですので当然いろいろあるべきだし、さっきの鉄道駅で案内を出すとかそういうことでの連携が、前回もこれはお話がちょっと盛り上がったところもあるんですけど、なんかそういうことは施策実施の成果ですので、施策を何か実施したので、結果的にこうなったということの施策はここには何も書いてないのでよく分からない。

何かいろいろ疑問があるなということなんです。さらっとこうやって書かれると、逆に余りにもさらっとしてて、質問しようがないとなるんですけど、要するに目標としては鉄道をたくさん利用してもらいたいということで、それぞれ駅でどれだけ利用してるかっていうことの合計なんですけど、それぞれの駅でさっきの資料1のこの細かさと、こ

ちらの鉄道の方の利用っていうのが余りにも粗密がはっきりすぎて、こんなんでも本当にいいですかと感じたということです。

その下のあしがるバスのところは、さっき資料1というか、報告事項1でやったところなんで、これは連動してるんだと思うんですけど、他の項目だって資料1ほど詳しく書かないにしたって、もうちょっと丁寧に書く必要があるのかなと思います。特に鉄道利用状況はもうちょっと詳しくということです。

それから表の方の区画整理事業の話聞いた気がするんですけど、JR清洲駅のところの区画整理を行うことで一番やっぱり関心が高いのは、バス停がどこに配置されてそれから駐輪場がどう配置されるかというところが交通からすると非常に大事。もちろん図面自体が大事なんで、そこはきちんとやられてるかはまたチェックしたいところなんですけど、もう別に清須だけじゃなくてどこ行ってもそういうことは見させてもらえないので、あとになって言いたいことあるけど作っちゃったからどうしようもないっていうばかりですが、そこで本来の都市計画と公共交通政策の連携っていうのをやらなきゃいけないので、本来お互いにそういう情報をやりとりするのが必要じゃないかと感じるし、今私愛知県の都市計画審議会の委員だから、実はそっちの方で見ることもありまして、ある他の自治体だと、その自治体の地域公共交通会議に出てる分には何ら情報はなく、都市計画審議会に出たら出てきて、何で教えてくれないんだと思ったこともあります。そこで自分が何か言うのもおかしいことなのでいわなかったんですけど。だから、ここでいえることがあるんだったら言うべきなんですけど、ここで土地区画整理事業の推進っていうのを、他で勝手にやられた結果こうなったんで、よかったねとか悪かったねっていうのはちょっとその施策の実施状況と言われても、我々勝手にやられてるだけで、施策を実施もしてないし、口伝えもしてできませんと。

例えば停留所であるとか駐輪場とかどうなるかぐらい情報提供すべきじゃないですかということもお願いしたいと思います。

あとレンタサイクルについては、ずっとやり続けていて、ずっとこんな感じっていうことですが、この後私は恵那市へ行くんですけど、恵那市の場合だとここ数年で、シェアサイクル事業者と提携して、市の中心部に20ヶ所ぐらいポートを作って、巡回バスを運行する中で、シェアサイクルも使えるっていうダブルで、自転車で行きたい人は自転車で行き、バスに乗りたい人はバスに乗るので、これを全部公共交通とみなして一体的に宣伝しているということです。これは私が強くおしたわけでもなく恵那市さんがやるというのでやられたんですけど、清須はずっとそれより昔からこの項目があるんですけど、何か旧態依然というか、ちっとも今日的になっていかないんですけど、計画でもこれしか考えてないんでこれでしょうがないということかもしれませんけど。

今日も枇杷島駅西口に降りてきたら、駅からいろんな歩いて行くとこんなところに行けるよという掲示板があります。このような内容の掲示板って、本来は降りた先のところに見えなきゃいけないんですけど。駅に向かう方に掲示板が見えるんで、降りてきた人は全く見え

ず、帰ってくると見える。これは駅にはよくあります。本当にこれは、せっかくお金を使って整備しても無駄なものだなと感じる。この看板自体、向いている方向だけの問題ならいいんですが、これを見て行こうとすると、歩いて行くと行って言ったら時間が結構かかる。春日まで書いてあるけどとても行けないと。だけど自転車で行けたらいけるよねとなるでしょう。と考えたら、そういった案内看板を出すことと、案内看板見たら行ってみたいなと思ったときに、片道1時間って書いてあったらとてもいけないんで。そこにシェアサイクルがあったら行けるとなると、こういう政策等、もちろんあしがるバスでも行けますと、いうことと連携してかなきゃいけない。レンタサイクルもやっていて、バスもやっていて、掲示板で市内にこんなところがあるよっていうのをやっているのに全部バラバラで、しかも見るような、あるいは使えるようなものにもなっていないのを改善する必要がある。ここまで来る間思ったんですけど、ここでサラッと年間に306人でよかったとか悪かったとかそのレベルの問題では本来はない。市役所内でそういう議論しないのかなと。これ横連携の話でもあると思うんですけど、そういった疑問を考えるということです。以上3点お願いします。

(高橋会長)

ありがとうございます。行政機構の各部署、たくさんあります。今の先生のお話は庁舎内だけで、関係する部署全部にあたることですので、一度進んで取り組んで研究していただきたいと思います。

(坪井主任)

事務局の坪井です。

JRの清洲駅と枇杷島駅の利用者ですが、令和7年度清洲駅が146万人で枇杷島駅が154万です。どちらの駅も令和6年度と比較しますと約5万人ほど利用者数が増えている状態でございます。

またこちらの資料に書かれた取り組み状況の評価につきましては、具体的な内容等を書きまして他の資料との整合性がとれるように修正の方をさせていただければと思います。

また区画整理やレンタサイクルにつきましては、担当部署の方と連携をとりまして、進めて参りたいと考えております。よろしく申し上げます。

(加藤副会長)

私さっき枇杷島駅の方が多んじゃないかと言ったのは、以前、JR東海さんが無人化されるときに、みどりの券売機を枇杷島に置かれて清洲に置かなかった。その時に利用が枇杷島駅の方が多からという話をされてたんでそれでそう推測しました。そこはなんでそうなるのでしょうかね。

清洲で乗る人の方が長距離の例えば新幹線の切符とかは買わないとかそういう傾向から来るんですかね。そういうのも結構大事なことから、つまり枇杷島の方が出張の方が多いのでそうなるとか、清洲

の方はむしろ通勤通学が多いとか、そういうことによっても、何かやらなきゃいけないっていうのは変わりますので、それって実は地域公共交通会議の本腰の話だと思うんですけど、今まで清須ってあしがるバスをほとんどやってきたので全然そこは、最初からあしがるバスって何もそんな通勤通学に使えるもんじゃないんで考えてなかったんですけど、この鉄道駅を考えようとする、今のよう出張だとかさっき私が言った観光だとか、通勤通学だとかっていう本当にボリュームの大きいところの話も出てくるっていうことなんで、ちょっとそこが手薄なんだろうなっていうのを改めてちょっと今の話は今日 JR さんがおられますのでまた聞ける機会があればと思います。

（鬼頭委員）

鬼頭です。鉄道の利用者数なんですけども、これでひと月の人数ですか。1週間ですか。

（加藤副会長）

1年間です。

（鬼頭委員）

分かりました。これ本来は駅は集まる場所になる。そういう役割を果たしてない、少なくとも枇杷島と清洲に関しては果たしてないどころか、むしろ不便にどんどんなって、清洲駅の場合、昔はキヨスクがあったり、それからさらに昔は小荷物の取扱場もありました。今は無人になっちゃうと、過去のいろんな様子見てますと、これもそういう話なんだけど、無人駅になると駅舎が取り壊されて、そのあと別所はワンマン化されて、JR 東海っていうのは、リニアを見越してリニア開通した暁には東海道線をつぶしちゃえば、なくしちゃえって考えてんのかなあなんて。ちょっと不安に思いますけども。そんなふうに感じました。

（高橋会長）

ありがとうございます。他にございませんか。

（岩田係長）

企画政策課の岩田です。鉄道の利用者数の増加に向けた取り組みのひとつとしまして、ご案内させていただきます。令和7年度が清須市の市制20周年の期間なんですけれども、その市制20周年の取り組みの中でYouTubeの動画を作成するという事業を展開して参りました。その中で、子供たちからやってみたいことを募集して、それを動画にするという取り組みを令和7年度実施しております。そこで子供たちからやってみたいことを募集したところ、あるお子様からぜひ城北線の列車をみんなに知ってもらいたい、PRしたいという応募をいただきました。

市としても絶好の鉄道のPRの機会だということで、そのお子さんのご提案を採用しまして、その後城北線さんと調整をして、1本城北線の

紹介をする YouTube 動画を撮影して市の公式 YouTube チャンネルに掲載しております。再生回数も 2 万人を超えておるかと思います。それがどれほどこの利用者の増加に繋がったかというところまでは捕捉できておりませんが、城北線の PR ができたという意味で 1 つできた取り組みだというふうに考えております。

（高橋会長）

他にございませんか。

それでは協議事項の（２）を終わらせてもらいます。

それでは次に、協議事項の（３）でございます。ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項について、事務局から資料 6 の説明をお願いいたします。

（坪井主任）

【資料 6－１、６－２、６－３を説明】

（高橋会長）

この議題ですが、またご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

（夫馬委員）

名古屋鉄道夫馬でございます。先ほど話を遮って発言をすればよかったんですが、先ほどの地域公共交通計画に係る令和 7 年度取り組み状況の評価についての議決をとってなかったと思うんですけども、この場で結構でございますので議決をとっていただきたいなと。ということとそれからこの評価について事務局の方から一部変更を検討するみたいな発言もありましたので、そのあたりを例えば事務局とそれから学識経験者の間で一任をすとか、そういった変更の部分についてもしっかり議決をとっていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

（加藤副会長）

会長一任で良いのではないのかと思うのですが。最後は会長に任せて必要であれば私に相談していただいと、そういう形でやっていただければと思います。

（高橋会長）

それでは協議事項について、資料 5 は修正があるという発言がありましたので会長に一任していただきまして承認することにします。皆様そのような認識でよろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

それでは戻りまして、ルート・ダイヤ改正に向けた検討事項について他にご意見ございますでしょうか。

(福田委員 (代理))

つばめユニオン福田の代理の太田です。

ルートダイヤに関しましてこれ市民のアンケート等で集めたものでやらせていただいているんですけど、実は現業の方でも私どもアンケートを、常に乗っているドライバーから意見をもらいました。

大量にありすぎるので、まとめて報告とか割愛させていただいて、これを先ほどの検討事項にまとめたものを載せさせていただきたいんですがメールとかでは PDF で添付とかでも大丈夫でしょうか。

(坪井主任)

問題ございません。

(原田委員 (代理))

愛知運輸支局の山田でございます。

事項資料の 6 - 2 の 5 ページ。対応策案の課題としてルナ&ブリッジ産婦人科周辺道路の一方通行の解除についてとあるのですが、県警さんとかと調整ですね。そもそも一方通行の解除っていうのが可能な方向で議論が進んでいるのかと、そもそもこれ解除できないって話だったらこの案自体が潰れるわけですし、そこら辺の今後の調整事項とか、見込みみたいなあるんじゃないかなってことです。あとそれと似たような話なんですけど、10 ページのブルールートについてなんですけど、道路が狭くって通行することができないってところ対応を教えてください。

(坪井主任)

まずオレンジルートの産婦人科病院周辺の一方通行の道路についてですが、他の部署も関係しておりまして調整のうえ行ってみます。具体的にいつまでっていうところまでについては、来年10月までには間に合うように話を進めているところでございます。

またブルールートの狭い道につきましては、最初にお示ししておりました内容は称宜家コミュニティセンターに向かうために、少し狭い道を通らなければいけないところでした。改めて私達の方で現地を確認しましたところ、バスが通るには十分な幅がないという判断をいたしまして現在のルート案となっております。現在お示ししている新しいルート案に関しましてはバスを運行できると考えております。

(原田委員 (代理))

ありがとうございます。ブルールートは分かりました。オレンジルートの一方通行の道に関しては解除の見込みがあるという。だいたい一方通行の道って狭いので難しいのかなとおもうのですが。

(岡田委員)

企画部長の岡田でございます。私どもの所管の別の部署になりますけれども今調整しておりまして、来年の10月に間に合うようにしたいと

思っております。

（鈴木正委員）

尾張建設事務所の鈴木と申します。制度改正によりまして、いわゆる生活道路の速度規制が変わってくるということを聞いております。今日はダイヤ改正に向けた検討の方向性を確認するということなんですが、そういったところがこの中に盛り込まれていないようですが、今回、アンケートに基づいた検討事項ということなんですけれども、事業者として今までのそのダイヤだとか、さっき言った道路交通法の改正に伴って、何か変えなくちゃいけない部分があるんじゃないかっていうところが足りてないと思うんですが、いかがでしょうか。

（坪井主任）

生活道路での速度規制に関しましては事務局の方でも当然把握はしておりまして、バス事業者の方にも確認をさせていただきましたところ、現在生活道路と言われるような道路に関して60キロで走ることなどは実際ないということで確認しておりまして、新たな制度に関しても、特別大きな影響はないということを考えております。

現状1ルート、1便分回るために少し時間を要してしまっているルートに関しては、一部、停留所の廃止も含めてというところで検討して参りたいと思っております。

（鈴木正委員）

今の説明の後段のところでダイヤがうまくいってないところを見直すんだという回答でしたけれども、それはこの本日の資料の中に、盛り込まれているんでしょうか。

（坪井主任）

はい。ルートごとの中で利用が少ないバス停というふうに記載した部分がございますのでこちらについては、検討するというところでお示しをしているつもりです。

（鈴木正委員）

私が申し上げたのはアプローチとして、市民のアンケートに基づいて初めて何かを考えたときに、そういう観点でもチェックをするんだというふうに今聞いたわけなんですけど、私としてはですね初めからすべてのラインについて課題がなかったんだろとかですね、そういうアプローチでこの検討を進めなくてもよいのかというお尋ねをさせていただきました。

（坪井主任）

私の説明不足もあるんですが、主にアンケート調査等からの意見としてまとめているのですが、実際の利用者数に応じたところも示しておりますので、利用者数が少ないバス停についてはアンケート調査とは別のところでこちらで確認をして掲載しているものとなります。

(鈴木正委員)

改めて確認ですけれども、それがこの資料の中にすべて込められているということによろしいでしょうか。

(坪井主任)

利用者数に関して、乗降者数のところを1.0を下回るようなところを、利用者が少ないバス停として表示しているところがございますので、こちらの利用者が少ないバス停を廃止しても影響があるかっていうところを考えて廃止の方も考えていければと思っております。

(鈴木正委員)

念押し申し上げるんですけどもこの資料の作り込み方からすると、利用者アンケートからこういう対策を考えたというしか読めないんですけども、事業者として課題があるないっていうのを自ら考えて対策をしたっていうところも整理してもよいのかなというふうに思いましたので意見をさせていただきました。ありがとうございます。

(高橋会長)

今おっしゃる通りでして、検討事項1からずっとありますので、そこに列記するような形で今後ね、提起するときには全部他のところを見て読み取れる部分もあるかもしれませんが、一覧にまとめてその関係についても検討事項に配慮した改正に向けた検討事項であるならば、あげ方の問題だと思いますので、わかりやすくしてください。

今後のことでよろしくお願いします。

よろしいですか。他にございませんか。

(加藤副会長)

先ほどつばめユニオンさんからたくさん意見がでてきたんですけど、最初にそれ聞くべきかとも思ったんですけど、それをつぶした上で、他に利用者的に要望があるか聞くのが普通かなと思います。あと、このアンケートはどういうふうにやったのか書かれていない。どれだけの回答を得て、どうだとかが書いてない。

あと、生活道路30キロ制限、これは9月1日から始まる。もうそんな来年の改正とか、他の地域公共交通会議ですと、この今の時期にダイヤを遅くするっていう変更が出てるところもあります。清須ですと、もともとそんな早く走れる道路がないっていうところが大半だろうなと推測するんで、大丈夫だっていうことなのかなと思うんですけど、実際走ったときに、そうじゃない道路もある、あるのかどうかってのは事業者さんとかお客さんが一番わかってるところだし、実際今までと同じように走っていたら検挙されたっていうことだったらこれは非常に大問題になってしまうという意味で、そんなときにこのダイヤでは走れないんだけど、頑張って走ったと言うふうになったらこの会議の怠慢になるということなので、決してこれ軽んじちゃいけない。法改正に対応してどうするかっていう話なんで、特に細い道でそ

ういった法定速度のところが生活道路の速度にかかるところがあるんだったら、緊急的な対応としてやるのか、問題だと言うのもこれ、この議題とは別のことになるんですが、来年見直しじゃ遅いのでそれはきちんとやっていただかないといけないと思いました。どうでしょうか。

（坪井主任）

事務局の坪井です。まずアンケート調査につきましては昨年のこの会議でもお諮りしたというふうに記録がありますが、アンケート調査2種類ございまして、住民基本台帳から無作為に抽出した2,000人を対象としたものとあしがるバスの実際の利用者を対象としたものがあることを確認しております。

（加藤副会長）

確認じゃなくて、何件あってどうだったかとかちゃんと書いて。誰から聞いたか分からない。前の時にやったってそんなこともう忘れてる。

（坪井主任）

私の手元の資料では何人から回答があったかまで準備がなくお伝えができないのですが、次からそのような内容も記載するようにいたします。

（柴田委員）

市民の柴田と申します。よろしくお願いします。生活道路の時速30キロの件に関しては、確か北名古屋市が対応されて、検討されたということを読んだと思うんです。

2、3ヶ月ぐらい何ヶ月ぐらい前か、記憶がないんですけれども、そうすると、はるひ呼吸器内科あそこで接続してると思うんですけれども、そういったことも検討して何か変わってくるのかなあっていうことは正直思いましたので、生活道路が実際にどういうところか今調べてみたんですけれども、やはりきちんと調査した上で、時間とかも検討する必要があるのではないかなと思いました。

（坪井主任）

事務局の坪井です。北名古屋市についてはダイヤ改正があるということで情報提供もいただいております。

はるひ呼吸器病院との接続に関しても、どのようなところにかかわるのかっていうことで情報提供をいただいております。こちらは北名古屋市と十分協議して参ります。またバス事業者の方とも改めて生活道路の変更について協議の方させていただければと思います。

（加藤副会長）

もし改正があったら会議があるんですか。制度改正に合わせて清須市内をチェックしたら、実は走れないとなると改正しなきゃいけな

い、議決してないといけないことになると思うんですけど、そうすると会議を開くということになるんだと思うんですけど、次は11月ですから間に合わないこととなります。

あまり気安くいわない方がいいというか、本来協議しないといけないというか、他の市だと会議でやってることです。軽微だと思われるんで書面協議とかされるっていうんでしょうか。それ言っとかないと、法定速度の件は9月からなんで、11月の会議でやってると間に合わない。そうすると軽微であれば書面協議の可能性があるとっていただくといいかとおもいます。

(坪井主任)

十分に改めて協議させていただきまして、必要に応じて書面での開催も行いたいと思います。

(鬼頭委員)

鬼頭です。今のきたバスとの接続に関しては、影響がないようにするっていうことでしたが、きたバスのことは6月6日に中日新聞の尾張版での記事で書いてあったんですね。それが正しいかどうかよくわからないけど、それを一応そういう記事がありました。

(高橋会長)

他ございませんか。

ご質問ないようですので、ここでお諮りします。

本件に関して承認いただくということによろしいでしょうか。

(加藤副会長)

これは一体何を承認するのか。

専門部会が8月で、11月に次は練られた案が出てくるとかそういう説明は、そのさっきのスケジュールではそれが書いてない。今度の8月で協議するってそういうことを承認するということでもいいんですか。

(坪井主任)

本日ご提案した内容について、また意見シートを用いて提示していただき8月という形になるかと思いますのでそちらについて、ご了承いただければと思います。

(加藤副会長)

こういうのが出てきて8月に専門部会やって11月にという、報告事項の3の方でスケジュールのことがでてきてるんで、報告事項3じゃなくてむしろ協議事項になるんじゃないか。

その中に今のようなご趣旨、つまりルート・ダイヤ改正についてこういうふうやっていく、そのためにこの資料を作っていくということでしたらそれで理解しました。

(高橋会長)

話を聞いてると、これから部会を始めここで煮詰めると、そして最終的に今後の会議で議決確認をします。今日はそういう意味でご了承いただくということによろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

それでは続きまして、協議事項（４）となります。令和９年度の地域公共交通計画別紙について説明をお願いします。

(坪井主任)

【資料７－１、７－２を説明】

(高橋会長)

それではご意見がある方は挙手をお願いいたします。

(加藤副会長)

これは毎年この時期にでてくる、さっき言ったものなんですけど、これを書いて出せば国からお金もらえるというもので、絶対反対することはありません、けど例えば国からお金もらう団体としては一番大事なのは目標だと思います。基本は地域公共交通計画に書いてあることを基本的には写していくものです。なので先ほど、例えばサクラとかグリーンが下がりましたよね。それに対して目標は上がる目標になっていますから、ちゃんとそれがいけるかどうかっていうことをやろうとすると一体何をやらなきゃいけないかっていうところが、例えば３－２のところに目標を達成するために行う事業及び実施主体とあるので、グリーンとかサクラは特に利用が減ったのでこういうてこ入れをやらなきゃいけないということが本当は書かれてないと。いうふうに見てもらえればと思います。

それからその次のところはずらっと昔話平成２６年６月そんなのをあまりどうでもいい、最近のことだけに絞れば。あとは、とにかく目標、目標が妥当かどうか。これはいいと思うんですよ。ただやはり下がってるところ目標達成が厳しいので、そこをどうやるかっていうことは書いていただくと思います。

(高橋会長)

他にご質問、ご意見ございますか。それでは他にないようです。ご了承いただくということによろしいでしょうか。

〔異議なしの声〕

ご承認いただいてありがとうございます。これで協議事項の議題を終わります。

以上です、今日予定されていた議事はすべて終了いたしました。ここからは次第３、その他に移ります。事務局から連絡事項が

ございますか。

(坪井主任)

特にございません。

(高橋会長)

ありがとうございます。最後になりますけれど、この全体を通してですね、皆さんから委員の皆様ご質問ございますか。

(鬼頭委員)

はい。鬼頭です。

今日の会議は今までと違って9時30分開始に変更になってる。この会議はあしがるバスについていろいろお話をする場所だと思っているんですけど、9時30分の開始だとこの時間にうまく接続するあしがるのバスは1本ありません。なぜあしがるのバスを使って、市役所までを考えてない。さらに、私の場合、家からおよそ30分以上歩いて五条川防災センターから8時37分につくようにきてる。ところがその時間に来ると、玄関は空いてませんよ。その時間に来るのに玄関があいてませんというアナウンスももらってません。何でそんな曖昧なわかりにくいことやるのか、行政官の方に当事者意識が欠落してるんじゃないか。あくまでもバス利用全体として、会議の当事者としての意識を持って欲しいです。

先日、市の職員と話をして、自動車で通勤することが問題だと指摘したらなぜ問題なのかと返ってきたんです。そういうレベルで物事考えてたら公共交通なんてできませんし、さらに都市計画なんてつくれないのではないですか。一体これはどうなってるんだろうと

これは今までの加藤先生がいろいろ事務方に箴言されてるんですが、その箴言をなかなか実行されないっていうか直ってない。その大きな理由っていうのは、やはりその当事者意識の欠落ということではないか。

加藤先生は研究者としての矜持を持ってらっしゃいます。話を聞いててすごく感じます。その矜持というのがあなたがたにわかってないんじゃないか。

その背景の中にはね、行政官としてやらなきゃいけないこといっぱいあるんで大変なことはわかりますけれども、幅広い勉強してください、幅広い知識を得てください。

(高橋会長)

ありがとうございます。最後に結んでいただいて、いろんな連携、途中でも出しましたが、関係する部署等の連携とても大切なのでよろしくお願いします。

(加藤副会長)

推測なんですけど、もしかすると私が今日午後に別の会議があるので、早くしていただいたのかもしれないなと思ったんですけど。いろ

んな日程調整をしてるので、どこでどういうやりとりしたか覚えてないんですけど、多分１１時半ぐらいで出なきゃいけないと私が言ったせいではないか。

ちなみに１２時１０分からオンライン会議に出なきゃいけない。すぐ電車に乗って向かわないと恵那市の会議が間に合わない日程でして、その１２時１０分の会議は司会なので、今の状況だと１２時７分枇杷島発で１０分名古屋駅着、そこでホームで会議に出る。そういうレベルの状況です。そのような私のスケジュールの関係で９時半にされたとしたら、申し訳ないです。他のところですよ、開催通知に、この会議は何分に始まるので何分のバスがあると案内をするところもあります。

ちゃんと今までも意識はされてたと思います。決して勉強してないと、そんなことはないと思うんですけど、余りにもずっとそれが当たり前になっていたので、今回担当が替わったので、そういうことになっちゃったのかなと。ちょっと厳しく言われましたが、担当は頑張っていると思います。

（高橋会長）

ありがとうございます。いろんな貴重な意見が出ました。

最後に、進行は事務局にお返ししますのでよろしくお願いします。

（岩田係長）

本当に長時間にわたって貴重なご意見をたくさんいただきまして、本当にありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和８年度第１回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。本当にありがとうございました。

問い合わせ先

企画部 企画政策課

０５２－４００－２９３６ 内線４２５２

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 高橋 謙治

署名委員 山田 政勝

署名委員 鬼頭 恒雄